

飯伊 産業経済動向

No.445 2016/4
(28. 5. 25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
経営相談所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,360	枚	△	20.9 %	△	23.2 %
	金額	3,588,321	千円	△	26.8 %	△	25.1 %
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 8 枚)		(前年同月 0 枚)	
	金額	0	千円	(前月 3,148 千円)		(前年同月 0 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	7	件	(前月 10 件)		(前年同月 6 件)	
	飯伊	1	件	(前月 1 件)		(前年同月 0 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(3月)		51	戸		18.6 %		264.3 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(3月)		1.27	倍	(前月 1.39 倍)		(前年同月 1.19 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,991	台	△	49.8 %	△	4.1 %
	中古車	700	台	△	24.1 %	△	8.6 %
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会)(3月)	新車	6,525	台		39.0 %	△	19.5 %
	中古車	1,001	台		31.7 %	△	9.2 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	109,243	台	△	6.9 %		0.4 %
	出	110,455	台	△	7.3 %		0.5 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	70,617	台	△	5.2 %	△	1.7 %
	出	67,921	台	△	5.9 %	△	3.6 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	17,766	台		20.8 %		7.8 %
	出	20,938	台		36.5 %		10.0 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	41,939	台		1.7 %		1.2 %
	出	42,219	台		4.1 %	△	4.5 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		132	件	△	52.3 %		9.1 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		11	件	(前月 13 件)		(前年同月 2 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	25,220	人	△	16.8 %		3.8 %
	飯田～名古屋	14,959	人	△	21.0 %	△	0.4 %
	飯田～長野	9,956	人	△	4.8 %	△	11.3 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,496	人	△	10.4 %		1.3 %
	右回り	3,435	人	△	12.3 %	△	0.1 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当相談所が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに進めています。



再生紙を
使用しています

概況

製造業

4月の製造業の景況判断指数(DI)は、マイナス6.3で、前月から6.3ポイント下降。翌月予測はマイナス28.1で、前月から11.4ポイント下降している。

電気・精密機械部品の販売の前月比は、業者により増減が分かれる。半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比横ばい～やや増加。受注残高もやや増加したとの声が複数あるが、景況感の好転には至っていない。産業機器関連、医療機器等部品の販売の前月比は、やや増加との声も複数聞かれたが、やや減少～横ばいとする業者が多い。一部に景況感が好転した業者もあるが、「売上は先月と同じ」など多くの業者では景況感の好転には至っていない。建築用金属製品の販売は、前月比横ばいも、「特に地方の動きが悪い」こともあって景況感悪化との声が寄せられた。自動車向部品の販売は、前月比概ね横ばいとの声。小型電磁機器の販売は、前月比減少～概ね横ばい。減少とする業者にあっても景況感横ばいという。FA関連モーターでは、「産業機械向けの受注は、少しずつ回復している」など、景況感の好転には至らないまでも、前月よりやや増加しているとの声寄せられた。レンズ、光学機器の生産は、前月比、概ね横ばい～やや増加。一部に景況感が好転した業者も見受けられた。電気、電子製品の生産は、前月比増加、景況感も好転との声寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比横ばい～やや増加、景況感が悪化した業者は見受けられないものの、「マイナス金利、再びの円高で先行き不透明」「インバウンド増加など良い方向性もあるのではないか」など温度差が見受けられる。水引製品の受注は、前月比横ばい～増加。景況感が悪化した業者は見受けられないものの、「支出に儉約姿勢が目立っている」など個人消費の弱さを指摘する声聞かれた。漬物の販売は、前月比増加、前年比ともやや増加との声寄せられた。「各社、仕事量は確保しているのでは」という。

建設業

4月の建設業の景況DIは、マイナス43.8で、前月から26.2ポイント下降。翌月予測DIは、マイナス25.0で、前月より13.2ポイント下降している。

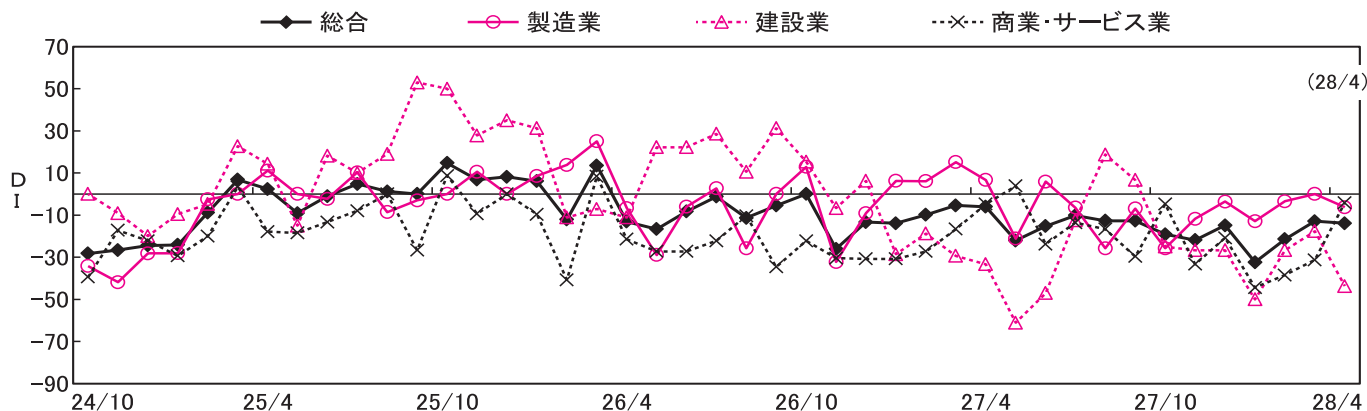
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約3.4億円で、前月比は56%減少、前年比も47%減少している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや増加との声も複数寄せられたが、「公共事業は前半に80%出るはずだが動きが遅い。その上、満足できるほどの仕事はない。飯田下伊那は需要不足」など減少～横ばいとの声が多い。

民需の住宅着工戸数(3月)の住宅着工戸数は51戸。前月比19%増加、前年比も264%増加している。当月の調査先業者の受注残高の前月比は、やや減少～横ばい。「建築は、消費増税前、低金利で仕事はあるが、競争が激しく、なかなか受注増加に結び付かない」などの声聞かれたが、景況感の悪化までには至らない業者が多い。

商業・サービス業

4月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス4.2と、前月より27.1ポイント上昇。翌月予測DIは、マイナス23.8で、前月より23.8ポイント下降している。食料品の売上の前月比は、横ばい～やや増加。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、景況感横ばいとの声。家事用品卸の売上は、前月比、前年比ともやや増加したという。家電の売上は、前月比、前年比とも減少～やや減少。OA機器の売上は、前月比減少も、前年比増加。衣料品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。介護、福祉サービスでは、「夜勤可能な直接処遇職員、看護師が見つからない」との声。娯楽用品の売上は、前月比横ばい、前年比減少。土産物関連の売上は、前月比やや減少との声。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比50%減少、前年比も4%減少。3月の県全体の軽自動車新規登録台数は、前月比39%増加、前年比は20%減少。自動車販売、整備の売上は、前月比増加も前年比減少との声寄せられた。市内料理店の売上は、前年比増加。「4月は出足から良かった。お練り以後になぜかお客様が増えた」など、景況感が好転した業者も少なくない。旅館の売上は、前年比やや減少も、景況感悪化には至らないとの声。昼神温泉の売上の前年比は、業者により増減分かれる。旅行代理店の売上は、前月比横ばいとの声。タクシーの売上は、前月比増加、「売上の前年比は保っているが、利用回数は実質的に3%の落ち込み。やはり夜間の需要が戻って来なければ全体として厳しい環境は変わらないと思う」との声寄せられた。

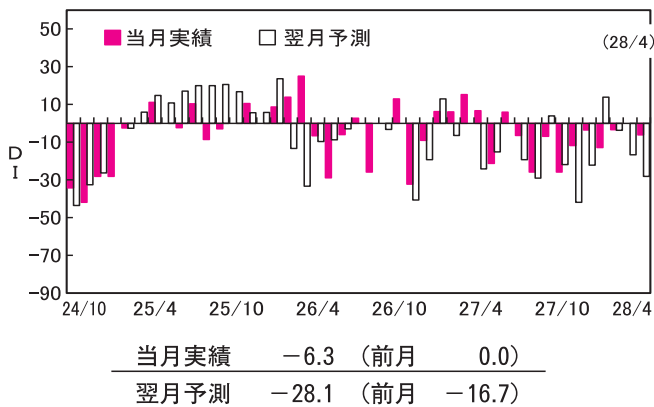
飯伊地区景況DI (本誌調査)



製造業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス6.3で、前月から6.3ポイント下降。翌月予測はマイナス28.1で、前月から11.4ポイント下降している。

2016年版中小企業白書では、第1部で最近の中小企業の動向についての分析に加え、中小企業の生産性について分析を行っており、その中でどのような業種においても、大企業よりも生産性の高い中小企業が一定数存在し、それらの

第1-3-15図 生産性の高い中小小売業の特徴(平均)

	構成比 (%)	資本金 (百万円)	従業員数 (人)	企業年齢 (年)	売上 (百万円)	設備投資額 (百万円)	情報処理経費 (百万円)	従業員一人当たり経費 (百万円)	資本生産性 (百万円/人)	資本生産性 (百万円/人)
大企業平均以上中小企業 (n=33)	25.9	43.0	224.3	45.0	11,638	338.6	34.6	5.1	26.7	575.7
大企業平均以下中小企業 (n=105)	74.1	42.2	350.0	44.1	8,112	97.8	17.4	2.4	15.2	1,451.4
中小小売業全体 (n=147)	100	42.5	306.0	44.4	9,345	182.0	23.4	3.7	19.2	954.4

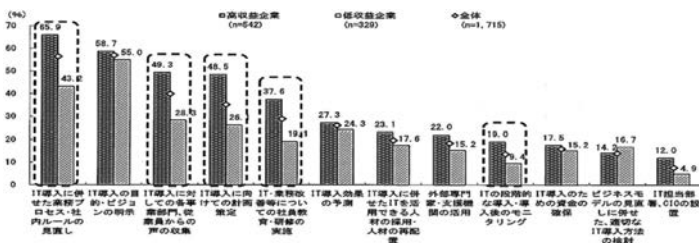
(資料：経済産業省「平成26年企業活動基本調査」再編加工)

企業は「設備投資やIT投資に積極的で、一人あたりの賃金が高い傾向がある」としている。

そして、第2部では、中小企業の「稼ぐ力」の強化に向けた取組について分析されており、具体的には、IT活用投資、海外展開投資、リスクマネジメント投資について取り上げられている。

「IT投資開始企業は、売上高経常利益率を投資開始前に比べ大きく伸ばしていることが見て取れる」とされるIT投資について、投資効果を得るために有意だった取組を、売上高経常利益率に注目した「高収益企業」と「低収益企業」で比較した結果から、「ITを導入する際に、業務プロセスや社内ルールの見直しを行い、各事業部門や従業員から意見・情報を収集するとともに、従業員に関連教育を行いながら、段階的・計画的に実施すること、さらにIT導入後も投資の事後評価を実施することが重要」としている。

第2-2-14図 高収益、低収益別に見たIT投資の効果を得るために有意であった取組の実施状況



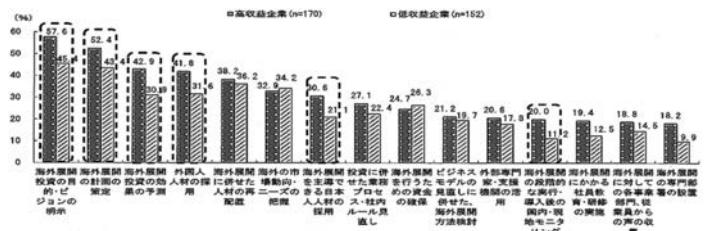
資料：中小企業庁委託「中小企業の成長と投資行動に関するアンケート調査」(2015年12月、株式会社データバンク)

(注) 1. IT投資を行っている企業を集計している。
2. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

また、「リーマンショック時を除き、輸出実施企業

の労働生産性（＝国内付加価値額／国内従業員数）は輸出非実施企業に比べ高水準で推移している」とされる海外展開投資についても、投資効果を得るために有意だった取組を「高収益企業」と「低収益企業」で比較した結果から、「国内よりも予測の難しい海外との取引に当たっては、外国人も含めた人材の確保・育成、効果予測を行いつつ、海外展開のビジョンや計画を明確にし、段階的に軌道修正・モニタリングを行いながら海外展開投資を行うことが重要」としている。

第2-3-25図 高収益、低収益別に見た海外展開投資の効果を得るために有意であった取組の実施状況



資料：中小企業庁委託「中小企業の成長と投資行動に関するアンケート調査」(2015年12月、株式会社データバンク)

(注) 1. IT投資を行っている企業を集計している。
2. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。
3. 「その他」の項目は表示していない。

機械加工製造業

半導体関連部品、電子部品やモーター制御向け基盤など電気・精密機械部品の販売の前月比は、業者により増減が分かれる。「各月の波が大きく、多少のプラスマイナスは仕方ないと思っているが、製造業を含めあまり良い話を聞かない。経済全体が内向きになっているのではないかな」など景況感が悪化した業者がある一方、景況感が好転した業者も見受けられた。前年比は減少との声が多い。先行きも見方が分かれる。雇用面は、「依然、夜勤、派遣社員で回している」など現状維持とする声が多いが、一部に不足感があるとの声も。設備面では、「今後予定」「導入済み。今後は考慮中」などの声。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比横ばい～やや増加。受注残高もやや増加したとの声が複数あるが、「FPD関連は良好。その他にも良好な製品はあるが、先月に引き続き、中国経済の影響でスマホ関連に停滞感がある」など景況感の好転には至っていない。一部に、先行き生産増加を見込む声も。原材料、資材価格に関し、「材料全般に下げ止まり」との声。一方、製品価格については「コストダウン要請が続いている」ものの、大きな動きはなかった様子。雇用面で積極的な声は聞かれない。設備面で、一部に「若干実施。今後も予定」との声が聞かれた。

産業機器関連、医療機器等部品の販売の前月比は、やや増加との声も複数聞かれたが、やや減少～横ばいとする業者が多い。「4月は、年に一度の需要があって忙しい」「新規に立ち上げた製品の納入開始」「受注残があり売上はまずまず」などの声も聞かれ、一部に景況感が好転した業者もあるが、多くの業者では景況感の好転には至っておらず、「売上は先月と同じ」「少量で短納期の仕事が多い」「工作機械向け減少」「設備の稼働率が、仕事量の減少で多くを望めない状況」「大手の決算は明けたが思うような動きが出ない」「材料屋さんでも動きが悪くなったという声を聞く。全般的に仕事量が減少しているとの声は多い」などの声が寄せられた。先行きも、弱含みとの見方が多い。一部の製品で製品単価が下降との報がある。

「鋼材が多少下降」など原材料、資材価格がやや下降との声が複数。雇用面では、「パート増員。正社員も若干名中途採用予定」「複数名増員」などの声も聞かれたものの、概ね現状維持。過剰感を指摘する声は

聞かれない。設備面でも現状維持との声が多いが、「実施した」「今のところはないが、秋口に入れ替え」「機械1台増」など積極的な声も複数聞かれた。

建築用金属製品の販売は、前月比横ばいも、「特に地方の動きが悪い」こともあって景況感は悪化との声も寄せられた。もっとも、「例年4、5月は大きく落ち込む時期だが、今年は少し様子が違って活況を呈している」という。「6月以降の出足は鈍い」など先行きは弱含みとの声も寄せられた。雇用面で「募集中。今後増員を予定」との声。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

自動車向部品の販売は、前月比概ね横ばいとの声も寄せられた。先行きは弱含みという。資材価格や製品価格に大きな変動はなかったとの声も寄せられた。

小型電磁機器の販売は、前月比減少～概ね横ばい。減少とする業者であっても景況感は横ばいという。先行きの見方は分かれ、弱含みとする業者も見受けられた。こうした業者では雇用面で過剰感があり、削減も考えているという。設備面では「一旦終息」など積極的な声は聞かれない。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

FA関連モーターでは、「産業機械向けの受注は、少しずつ回復している」など、景況感の好転には至らないまでも、前月よりやや増加しているとの声も寄せられた。原材料、資材価格がやや上昇した一方、製品価格は下降しているという。

レンズ、光学機器の生産は、前月比、概ね横ばい～やや増加。前年比は増加との声も。一部に景況感が好転した業者も見受けられた。「大手の半導体設備が好調に推移」「客先によって上向きもあれば、下降している先もあり、様々」などの声。先行きは、一部に弱含みとの声がある。原材料、資材価格や製品価格が前年に比べやや下降との声も寄せられた。雇用面では、概ね現状維持の様子も、「毎月複数名ずつ増員予定」など積極的な声もある。設備面では、「工事開始」「検討中」などの声も聞かれた。

電気、電子製品の生産は、前月比増加、「地方自治体や大手企業からシステムについての問い合わせが増えている」など景況感も好転との声も寄せられた。こうした業者では、「開発技術者が不足。開発部門の海外移管も検討を始める」という。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比横ばい～やや増加。「ゴールデンウィーク前で、受注、販売とも多い」などの声。前年比はやや減少～やや増加、「定番の動きが良くなかった」「昨年並み」などの声も寄せられた。景況感が悪化した業者は見受けられないものの、「マイナス金利、再びの円高で先行き不透明」「インバウンド増加など良い方向性もあるのではないか」など温度差が見受けられる。雇用面では概ね現状維持の様子も、一部に「複数名の不足感がある」との声も。設備面でも概ね現状維持の様子も、一部に「計画中」との声も聞かれた。原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も、「高値で安定」という。

水引製品の受注は、前月比横ばい～増加。景況感が悪化した業者は見受けられないものの、「熊本地震、自動車生産会社の不正問題、新興国の景気後退等々もあり、消費者が節約モードに入っている」「支出に儉約姿勢が目立っている」など個人消費の弱さを指摘する声のほか、「スーパー、ホームセンター向け製品の収益が芳しくない」「新製品が思ったほど伸びない」などの声も寄せられた。「円高で輸入品にメリットが出た」「円高傾向が続き、輸入品が多い当社にとってはありがたいが、得意先からは差益の還元を求める声も聞かれ、判断に迷うところもある」など円高傾向に伴う原材料、資材価格の低下を指摘する声も複数聞かれた。一部に雇用面、設備面で積極的な声。「冠婚葬祭のありようも変化し市場は縮小しているが、必ず使われる製品でもあり、日本の伝統文化でもあり、伝え

ていく義務があると思っている。日々商品構成を見直していきたい」「業者間で話題になったが、外国製工芸品で新規の安価な製品の情報がある。価格競争がまだまだ続きそうで、なかなか厳しい状況のようだが、『飯田水引』の伝統を守っていきたい」などの声も寄せられた。

漬物の販売は、前月比増加、前年比ともやや増加との声も寄せられた。「各社、仕事量は確保しているのでは」との声。「土産物関連など観光需要の動きが弱い」との声も寄せられた。

その他製造業

食品関連包材の販売は、前月比やや増加との声も寄せられた。先行きは弱含みという。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

印刷、出版関連の売上は、前月比やや減少も、前年比はやや増加、景況感も好転との声も寄せられた。こうした業者では、設備面、雇用面で積極的な様子も見受けられる。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかったという。官公庁向け製品の入札に関し、「ネット公募による入札競争が激化。この価格で採算が合うのかと思うケースもある」との報も寄せられた。「同業で解散した会社がある。この1年間で5社ほど廃業している。後継者問題と年金基金の解散に伴う各社の負担が大きいことが要因に挙げられる」との声も寄せられた。

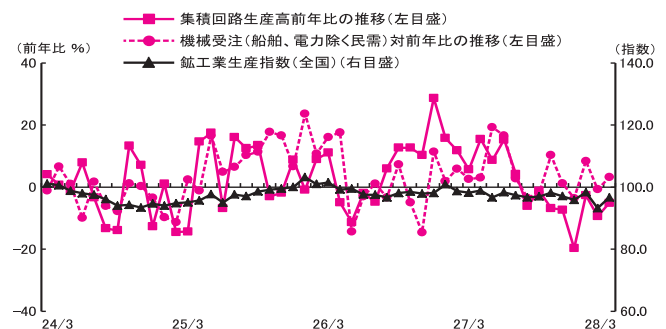
衣料品の売上は、前月比、前年比とも減少、景況感も悪化との声。受注残高は増加しているものの、「春、夏ものの急な投入で生産が間に合わず、納期遅れが頻発している。売れ筋が読めないことが理由だというのが、このようなタイトなスケジュールでは各工場ともついていけない」との声も寄せられた。「同業も人材が不足しており、国内の生産が追い付かない」など、人材の不足もこれに拍車をかけているという。今後こうした傾向は続く見込みで、先行きに関する景況感も悪化している。

住宅機器、オフィス家具や店舗用什器などの家具の販売は、前月比、前年比とも減少。「予想通り冷え込み始めている。5月以降更に受注が減少すると見る向きが多く、夏まで引きずりそうな気配」など景況感も悪化している。「各社仕事量が足りなくなりつつあるように思うが、受注を確保しようとする動きが、更なるデフレを招いてしまわないか懸念している」との声も寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★阿智村の「天空の楽園 日本一の星空」のように、我々が常々見慣れていることもメディアが取り上げることがある。儀式産業にとっても、何か見落とししているものを発見して、業界が一つになって取り組みれば道は開けるのではないかと。
- ★自社のブランディングを明確にして、営業力の強化を目標にしている。
- ★今後更なる冷え込みが予想される。

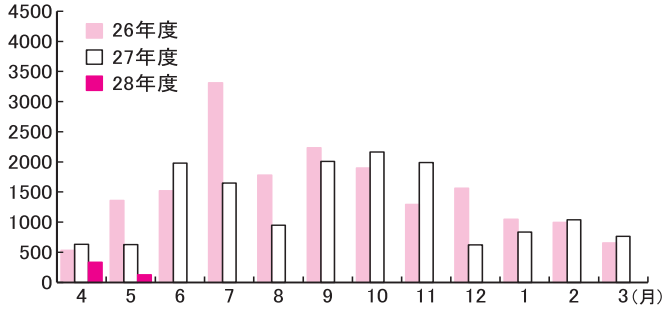
集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



建設業

月別入札額

(百万円) (飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料: 新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI	-43.8	(先月 -17.6)
翌月予測DI	-25.0	(先月 -11.8)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約3.4億円で、前月比は56%減少、前年比も47%減少している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや増加との声も複数寄せられたが、減少～横ばいとの声が多い。「発注が出ない」「官庁の発注は極めて少ない」「発注が例年になく少ない状況が未だに続いている。昨年同時期の受注残高とは比較にならない」「公共事業は前半に80%出るはずだが動きが遅い。その上、満足できるほどの仕事はない。飯田下伊那は需要不足」「熊本の震災の影響で、県、市町村への国の補助率が大幅に削減される。やむを得ないこととはいえ、次年度の地域の公共事業に大きな影響がありそう」「オリンピックや東日本大震災、熊本震災の影響で、全体に地元の仕事がない」などの声が多い。

また、「官庁発注工事が少ないため、民需主体の業者と官公需主体の業者では、手持ち工事に差が出ているように感じる」「当社の場合、民間工事があって労務は良いが、公共工事の発注が少なく、代人、技術者が遊んでいる状態」など、官公需の減少に伴う相対的な民需の優位性の上昇が手持ち工事量や雇用面に表れているとの指摘が寄せられた。

こうした「地元の仕事がない」「飯田下伊那は小さくなるパイの奪い合い」といった事情を受けて、「松本、名古屋、圏央道、鬼怒川災害工事などに行けば仕事はある」など、「地元志向で営業していた業者も、エリアを南信全体、近隣他県等への進出を考慮せざるを得ない」との声が寄せられた。

雇用面では「休業補償を出して現状維持」「過剰。非正規社員は休業中」など、過剰感はあるものの現状維持との声が多いが、「施工職員は増やしたい」「進出した異分野で増員予定」「新卒1名入社」などの声もある。

原材料、資材価格は「ガソリン等で乱高下している」ものの、「おおむね安定」の様子。

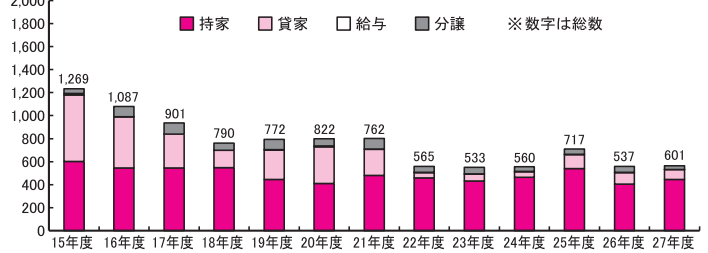
民需

当地区の3月の住宅着工戸数は51戸。前月比19%増加、前年比も264%増加している。

当月の調査先業者の受注残高の前月比は、やや減少～横ばい。「雇用面、資金繰りに当面問題はない」「建築は、消費増税前、低金利で仕事はあるが、競争が激しく、なかなか受注増加に結び付かない」「仕事の受注は小さい物件が多い」「設備工事は、細かな仕事はあるが全体には少ない」などの声が聞かれたが、景況

感の悪化までには至らない業者も少なくない。雇用面で積極的な声は聞かれなかった。資材価格に大きな動きはなかったという。

飯伊地区 住宅着工戸数の推移(用途別)



平成27年度の住宅着工戸数は601戸で、前年度に比べ12%増加。用途別には、持家が444戸で、前年度比プラス9%、貸家は88戸で前年度比マイナス11%となったものの、給与は9戸で前年度比プラス800%、分譲は60戸で前年度比プラス94%だった。

建設資材

建材、塗料の売上は、前月比横ばい～増加。「建築向けは全体に良かった。今後増加を見込んでいる」「地元業界はとても静か。皆、水際で頑張っている感」などの声。「生産工場の火災で下地用合板、厚物が不足。また、熊本の震災復興で品不足も考えられる」との声が聞かれた。

鋼材の売上は、前月比横ばい。「例年4月は3月に比べ売上が落ちるが、今年は横ばい。しかし、低水準の状況に大きな変化はなく、上向きな話も聞こえてこない」との声が寄せられた。鋼材価格は「横ばい」という。

生コンの売上は、前月比減少、一部に前年比増加との声も聞かれたが、こうした業者にあっても「新年度工事の発注もなく、前年度残工事も遅れており、総じて低迷」との声が聞かれたほか、「4月は生コン出荷につながる工事が少ない。仮に今発注があっても出荷はお盆過ぎ。当面厳しい状況は続きそう」など景況感は悪化している。客先の動向に関し、「まったく受注がない。厳しい」「仕事がないという声は多い。時期の問題もあるが、昨年より景況感は悪化しているのでは」などの声が寄せられた。

骨材等の売上は、前月比、前年比とも減少。「例年4～6月は売上が少ない」とはいうものの、「変わらず悪い」「相変わらず低迷状態。三遠南信自動車道、リニア関連工事の動きが待ち遠しい」など総じて景況感は悪化している。

【企業からのコメント】

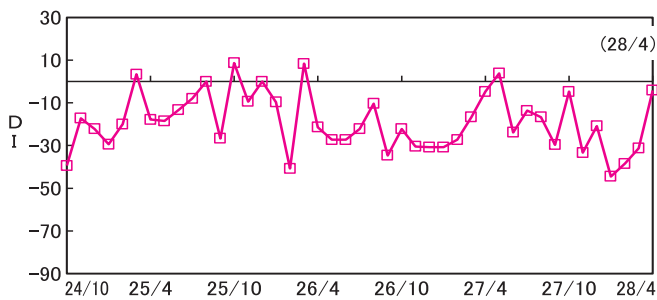
- ★一部の板金塗装関連は、全体的に低調。
- ★飯田市下伊那は多くの業種で需要不足では。これがリニアでどのくらい膨らむか期待は大きい。
- ★全体では仕事が少なく、生コン、骨材も動かないし、ダンプやミキサー車の需要もない。あらゆる面で景況は悪い。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

- 4月
- 下伊那地方事務所
 - 新築 7件 (前年 7件)
 - 増築 2件 (前年 4件)
 - 飯田市役所分
 - 新築 27件 (前年 21件)
 - 増築 1件 (前年 1件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI -4.2 (先月 -31.3)

翌月予測DI -23.8 (先月 0.0)

商業

食品の売上の前月比は、横ばい～やや増加。前年比はやや減少との声も聞かれ「景気の減速感が感じられる」との声も。仕入価格やや上昇との声も少なからずあり、「熊本震災の影響が野菜類が品薄。高騰中」との声も。「月末が土曜日のため」在庫がやや増加との声。

【青果卸売市場】

売上は前月比増加、前年比はやや減少、「販売数量は増加するが、単価も下がる」との声。

野菜は「去年は長雨により極端な品薄による高値であったが、今年はほぼ順調な生育入荷となり価格も落ち着いてきた。大根、キャベツ、きゅうり、トマトなどの重要野菜のほとんどが昨年比1～3割安、野菜全体では入荷量5%増で価格は9%安であった」という。

果実は「晩柑類は全体的に品薄傾向で6～7割の入荷にとどまり、バナナ、ふじは前年並み。全体では入荷量9%減で価格は10%高」との声。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、景況感は横ばいとの声。

家事用品卸の売上は、前月比、前年比ともやや増加したという。「リニューアルオープン等があり売上増加」「殺虫剤、日焼け止め、帽子等、夏物が去年より早めに出荷できた」「熊本地震で一部間に合にくい商品があった」等の声。仕入単価がやや上昇しているものの、「なかなか上乗せできない」という。

家電の売上は前月比、前年比とも減少～やや減少。「お祭りが過ぎたら動きが悪い」「消費が冷え込み、商品の種類を問わず売上がない。設備等の物件は金額が安く利益確保が難しくなってきた。全てにおいて価格が下落しており、今まではやり方を変えないと生き残れない」などの声が寄せられた。「温水器をエコキュートに入れ替える住宅があり、エコキュートがコンスタントに出荷」との声も。

OA機器の売上は、前月比減少も、前年比増加、「例年より需要期のスタートが遅かった一方、終了が早く、期間が短かった」との声が寄せられた。「文具、事務用品は値上がりが一服したと思われる」という。

衣料品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。「前月減少分売上増加」「各業種のお客様があるが、土木、建築関係の年度末の勢いがなかったように感じる。今後は若干心配」などの声が聞かれた。

介護、福祉サービスでは、「夜勤可能な直接処遇職員、看護師が見つからない」との声。

娯楽用品の売上は、前月比横ばい、前年比減少も、景況感の悪化には至らないとの声。

土産物関連の売上は、前月比やや減少との声。雇用面で「増員」との声が聞かれた。

松本自動車検査登録事務所管内の**自動車新規登録台数**は、新車は前月比50%減少、前年比も4%減少。中古車は、前月比24%減少、前年比も9%減少した。3月の県全体の**軽自動車新規登録台数**は、新車は前月比39%増加、前年比は20%減少。中古車は前月比32%増加、前年比は9%減少した。

自動車販売、整備の売上は、前月比増加も前年比減

少、「春になり、低価格帯の軽トラックが動いたが、昨年と比べると車もバイクも販売台数減。増税後悪くなっていると思う」との声が寄せられた。「総取引台数が減り、中古車の仕入単価は前月比、前年比とも上昇。販売単価も上がったのだが、ボリュームが減って売上、利益を下げた」という。

サービス業

市内料理店の売上は、前年比増加。「4月は出足から良かった。お練り以後になぜかお客様が増えた」「お練り期間はお持ち帰り商品の売上が好調で、これが売上増につながった感。それ以後も花見シーズンで追われた。総じて忙しく感じられた月」「昨年比に比べ歓迎会の席が多かった」など、景況感が好転した業者も少なくない。「油、牛乳など値上げ。揚げ油の値上がりはつらいが、売値は変えない」との声も。「郊外の飲食店の増加等の影響がある。店の特徴を伸ばす要素を見つけていきたい」との声が寄せられた。

旅館の売上は、前年比やや減少も、景況感の悪化には至らないとの声。

昼神温泉の売上の前年比は、業者により増減分かれる。「桜、花桃が例年になく早く咲き、寒暖があって長持ちした。気温も良く売上も良かった」「特に花桃が開花した4月中旬からやや動きがあったが、週末はともかく、平日の予約状況は悪い。星空ナイトツアーも始まったが、目下のところ昨年のような動きになっていない。全体的に何か弱い感じを受ける」などの声。「桜について言えば、かつては高遠の開花の時期に老人会などの入込があったが、ここ数年来ほとんどない」「5月の連休も、終盤ともなると静かになる。修学旅行など、こうした時期に誘客したい」「新年度の企画で客単価を見直したが、団体向けの値上げは難しい」「人数不足」などの声が寄せられた。

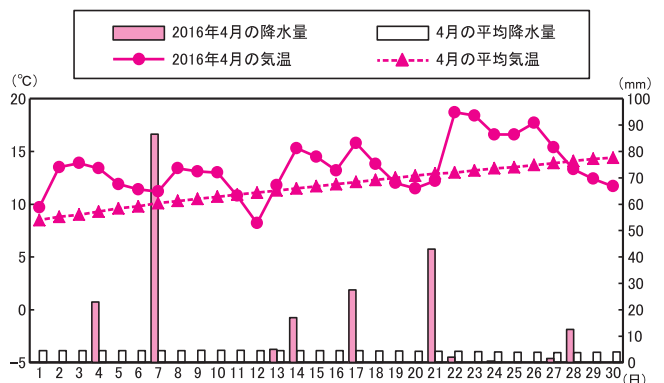
旅行代理店の売上は前月比横ばい、「熊本を中心とした地震で、熊本、大分のみならずほぼ九州全域への旅行がキャンセルまたは行先変更。ゴールデンウィークから9月頃までの計画案件でも影響が出ている。沖縄や北海道、四国への振り替えが多く見受けられる」との声が寄せられた。

タクシーの売上は、前月比増加、「売上の前年比は保っているが、利用回数は実質的に3%の落ち込み。やはり夜間の需要が戻って来なければ全体として厳しい環境は変わらないと思う」との声が寄せられた。「同一地域の二重運賃が目立っているが、公共交通機関として継続的なサービスを提供していくために適正価格を収受していきたい」との声が寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★仕入メーカーが少しずつ値上げしているが、満足できるほどの転嫁ができていない。
- ★自動車大手の不正などがあったが、災害、政治経済など先行き不安な世の中で、国を元気に導いていくリーダーが不信心を持たれ、庶民は安心して消費できない気分になっているのでは。

飯田の気温と降水量



飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

今回本誌執筆を担当する当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 経営相談所（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

流れ雲の目（11）それが貴方の履歴書

飯田信用金庫 経営相談所
専門アドバイザー 小泉 敏郎

テレビで、ある会社の社長のインタビューを視た。その時、社長のお辞儀の仕方を見て、あっ、この社長は官僚出身だ と気がついた。

理由は簡単。民間企業に若いころから勤めた人間と官僚出身者とは、頭の下げ方が大きく違うからである。

大手の企業の社長の会見などを見ていると、生え抜きか、横滑りか、天下りか大抵分かるものだ。

官庁、民間企業、代議士、税理士、医者、教師、金融業、土木建設業、サービス業、色々な職業があるが、二十歳前後から社会に出て長年勤め上げると、人間は、顔、立ち居振る舞いとその職業に見合ったようになるものだ。同じ職業でも、立場によって当然大きく変わってくる。

本人は殆んど意識していない行動なのだが、他人にはよく見える。

人に頭を下げる機会が多い職種と、頭を下げられる機会の多い職種では、当然ながら長い年月の間に態度に違いが出てきてしまう。

そして人を見る目にも違いが出てくる。

教師や先生と呼ばれる職業もいろいろな知識を持ち、社会に大きく貢献しているわけだが、特に競争の激しい民間企業のような熾烈な戦い、会社の存亡掛けての行動などは、経験したくても中々出来ないのではないかな？

理論や理屈には人間の長年の英知が詰まってもいよう。ただ、そこからものを観て判断することが仕事の人と、今日と明日では気持ちも考え方も行動も違う人間を相手に、理屈通りには決して回らない世の中を死に物狂いで生き抜いた企業人とは、自ずと経験の種類、質が違って来るだろう。

ある友人が嘆いていた。

彼の両親は共に内科の医者で、70歳過ぎまで現役として病院勤務をしてきた。最近両親も80歳を過ぎ、所々に体の不調を訴えるようになってきた。あちこちの総合病院に行き、いろいろと検査してもらったのはいいが、この病院の医師も同じような診断を下す。おまけに、その医師が自分の教え子か、その下の年代である。医者が診断結果を伝え、様々な治療の指示を出すのだが、両親はまったく医師の言うことを聞かない。自分の体は自分が一番分かっているし、ましてやこんな若造の言うことなどと、素直に聞く気にはならないというのである。友人はなすすべもなく、頑固な両親を抱えて弱っている。

困ったものだが、一笑に付す訳にも行くまい。あちらこちらで見られる光景だ。

同じ会社でも営業職と購買職では、立場上、頭を下げるか、下げられるかが違って来る。

中小の企業でみると、創業者と、二代目、三代目とは違って来る。どちらも大変な苦勞をして企業存続させているわけだが、ゼロから立ち上げることは筆舌に尽くし難い苦勞であろう。

社会に出た瞬間から親の会社に勤めるのと、他人の飯を食べてきてから跡を継ぐのとでは、また違う。

どれが良いとか悪いとかではなく、まったく違う条件が揃っているのだから、本人がその違いを把握、理解することが大事なのではないか。

人間は、環境によって、性格や考え方、態度、行動が大きく違って来るということを言っているわけだが、このような環境で育ったからしょうがない ではなく、第三者的に自分を見詰め、どう変わればいいのかを考えるのが人間であり、それができなくては社会で通用しない。

人間は、どんなに職業や立場が違って、そんなに幾つもの経験ができるわけではない。過去の環境に大きく影響されるのはある程度仕方がないだろうが、経験がないから全く分からないでは、社会人として許されるわけにはいくまい。

知識や知恵は、経験がなくても、学ぶことができる。人の振り見て我が振り直せ という諺もある。先人の経験談、書籍からの知識。本人のやる気次第でいくらでも吸収することができるはずだ。

問題は、自分の立ち居振る舞い、行動が、他人の目にどう映るかという意識を持つか、持たないかだろう。自分の行動が、どれだけ他人に迷惑をかけるか、他人をどれだけ傷つけてしまうかに、気が付くか、付かないかの違いは大きいだろう。

人の上に立つ人は、他人から何も言われたいのいいことに、自我を丸出しにするケースが往々にして見られる。特に社長の場合、部下は決して何も言わないし、諫言してくれない。部下は腹の中では笑っていても、自ら評価を落とすようなことはしないものだ。

子供の頃、誰も 裸の王様 の物語を読んだり、聞いたりしたことがあると思うが、自分だけはそうならない、自分は違う、そう言いながらも、年を重ねるごとに、また会社の成長と共に、社長は段々我が儘になりがちである。

間違いなく、人は通過してきた環境で人間形成、人格形成が出来てしまうものだ。当然、顔かたち、立ち居振る舞いもそれなりに出来上がってくる。それはごく自然なことで、それが貴方の履歴書なのだ。

貴方の大事な履歴書に、貴方の人間性、人間味、謙虚さを、一行付け加えることができるかどうか。

驕り高ぶりを捨て、真摯な態度、物腰、謙虚な気持ち、他人を敬う心を持ち、相手の立場に立ってものごとを考えられるかどうか。

実るほど頭を垂れる稲穂かな 子供の時によく祖母に言い聞かされた。徳は得を呼ぶ ものだろう。

一度限りの、短くも長い人生どう生きるか、どんな履歴書が出来上がるのか。すべては貴方次第。

楽しきかな、素晴らしき人生。実りある人生にしたいものだ。

飯田信用金庫 経営相談所 専門アドバイザー 小泉 敏郎

1946年 東京生れ。70年 明治大学工学部卒業、スタンレー電気株式会社入社。営業部長、経営企画室室長、取締役事業部長、スタンレー伊那製作所社長兼務。顧問などを歴任。現在、飯田信用金庫嘱託職員、サンワテクノス株式会社社外取締役。

都心から新幹線で45分の街 (3)

熱海駅（東海道新幹線）
熱海市（静岡県）

リニア新幹線が開通すると、飯田は東京から45分の街になる…。
都心から45分の街とはどんなものだろうか。今回はシリーズ最終回として、熱海市を訪れた。

熱海駅に向かったのは金曜日の午後、東京駅13時56分発こだま661号。
車内は行楽客とビジネス客が半々という状況だった。50分後に到着した
熱海駅、降車客は8割が行楽客、2割がビジネスその他といったところ。
週末のうきうき感も感じられる熱海駅となった。



JR熱海駅
右のビルが木造駅舎の方向へ伸びてくる

1. 他の新幹線駅に比べ特色ある駅前風景

熱海駅は新幹線の乗降する駅ビルと大正14年に建てたという木造の在
来線駅が隣り合っている。駅を出ると目立つのは路線バス、タクシーではな
くホテル、旅館の名前が側面に書かれたバス、マイクロバスであった。これ
を過ぎるとアーケードのついた駅周辺温泉旅館等へ抜ける通路を兼ねた商店
街となる。「仲見世」の看板があり、東京浅草の仲見世に似ている土産物な
どを扱う店が並んでいる。



温泉旅館などの送迎バスが並ぶが…

これまで熱海へは数回訪れたことはあるが、熱海の商店街をはじめ街並み
には良い印象は持てなかった。シャッターが下りた元気が感じられない商店
などが目に付いていたからである。これまでは貸切バスや自家用車など車で
熱海入りしていたのであるが、今回鉄道駅に降り立ってみた熱海は「なかな
か良いじゃないか」という感じを抱かせた。駅前に立つといかにも温泉地へ
降り立った雰囲気があり、それに来訪客に対応する商店街が隣接している。



商店街「仲見世」へ誘導される

多くの新幹線駅は、綺麗で整備が行き届いているもののどこか無機質とい
うか、それぞれ凝ったデザインであったはずが結局全国で似通ってしま
う。この駅の昭和を感じられる風情は個性的といえる。

リニア長野県駅では駅周辺整備に「伊那谷らしさ」を追求するとして
いる。どのようにして金太郎飴的でない「らしさ」を出していくか。また
リニア駅前には賑わい施設として物販、サービスを提供するゾーンが
考えられていると聞かすが、駅を出て自然と誘導されていく当駅の造りは
参考になるのではと感じた。



「仲見世」の様子

ただ、私には好ましいと思えた駅前であるが、地元熱海市民や来訪者には不評のようである。熱海市によると、
①バス、タクシーが広場を占有し、一般者が駐車・停車する場所がない、②広場を道路が分断し、広場の一体感
がなく安全に通行できない、という（熱海市HP）。熱海市では平成23年度から熱海駅前広場整備工事を進めてお

り、このレトロ感ある駅舎も間もなく取り替えられる。平成29年3月末完成を目指し進められているが、その際にはすっきりした景観となったものの金太郎飴に、とまらないよう願うものである。

2. 観光・温泉に特化した熱海市

まず、鉄道駅（新幹線駅）としての熱海駅は、1日当りの乗車人数は9,583人（平成26年度）である。JR東日本から同一基準で発表されている平成22年度からの推移は、東日本大震災年の平成23年度の落ち込みを除き、連続して前年を上回っている。近隣駅では、小田原駅が同44,642人、三島駅（静岡県）が同29,669人（同年）という状況である。

熱海駅は観光による利用が多いであろうという前提から熱海市の観光の現状をみると、観光入込み客数は年間6,407千人。うち宿泊施設利用人員は同3,156千人、観光施設・イベント客数は同3,251千人（いずれも平成26年度、熱海市観光経済課発表）である。平成22年度からの推移は、これも平成23年度を除き連続して前年増となっている。

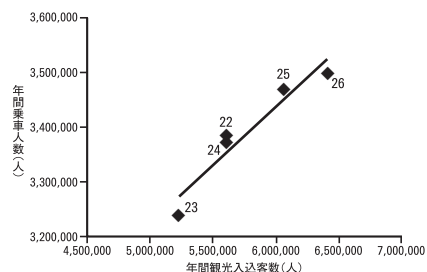
入湯税申告ベースの宿泊人員は、平成26年度で2,967千人と平成22年から連続して（平成23年度を除き）前年増であるが、内訳をみると旅館・ホテルは増加傾向であるのに、寮・保養所は減少傾向にあることが判る。その裏付けとして、平成22年度からの宿泊施設数の推移は、旅館が最近3年度間は減少傾向が止まってきているのに対し、寮・保養所は減少傾向が続いており、全体の経済状況や企業の対応状況を窺うことができる。

熱海市の事業所統計でみると、観光関連業種は温泉旅館やホテル、それに付随するとみられるサービスを含めると事業所数、従業者数とも4割近くを占めている。

経済センサス平成21年と24年調査のなかでは、事業所数、従業者数とも縮小している中で観光関連も減少しているとはいえ、全体の中では構成比を高めているともみられる。

新幹線乗車人数からみる熱海市は、①地形等の関係から企業の立地＝ビジネス客の利用は難しく、②隣の三島市のようなベッドタウン＝新幹線通勤も図り難く、観光による交流人口に依存せざるを得ないものといえる。

観光入込客数と熱海駅乗車人数
（数字は調査年）



宿泊施設数の推移 (単位：千人)

	宿泊施設利用人員	観光施設イベント客数	総数
平成22年	2,729	2,886	5,561
23年	2,562	2,670	5,231
24年	2,829	2,779	5,608
25年	3,037	3,026	6,062
26年	3,156	3,251	6,407

熱海市経済観光課

宿泊人員の推移 (単位：千人)

	旅館・ホテル	寮・保養所	総数
平成22年	2,110	513	2,623
23年	2,021	446	2,467
24年	2,253	437	2,689
25年	2,440	431	2,872
26年	2,541	426	2,967

熱海市経済観光課

宿泊施設数の推移

	旅館	寮・保養所	総数
平成22年	129	193	322
23年	118	195	313
24年	121	179	300
25年	121	182	303
26年	121	180	301

熱海市経済観光課

熱海市 産業別事業者数・従業者数 (抜粋)

	平成 21 年度				平成 24 年度					
	事業所数		従業者数		事業所数		従業者数			
	実数	構成比	実数(人)	構成比	実数	構成比	増加率	実数	構成比	増加率
総数	3,238	100.0	23,430	100.0	2,857	100.0	-11.8	19,139	100.0	-18.3
農林漁業	6	0.2	46	0.2	5	0.2	-16.7	60	0.3	30.4
建設業	323	10.0	1,670	7.1	298	10.4	-7.7	1,361	7.1	-18.5
製造業	85	2.6	557	2.4	92	3.2	8.2	561	2.9	0.7
御小売	723	22.3	4,005	17.1	654	22.9	-9.5	3,303	17.3	-17.5
宿泊・飲食業	807	24.9	6,894	29.4	709	24.8	-12.1	5,593	31.0	-13.9
関連サービス	489	15.1	3,014	12.9	451	15.8	-7.8	2,994	15.6	-0.7

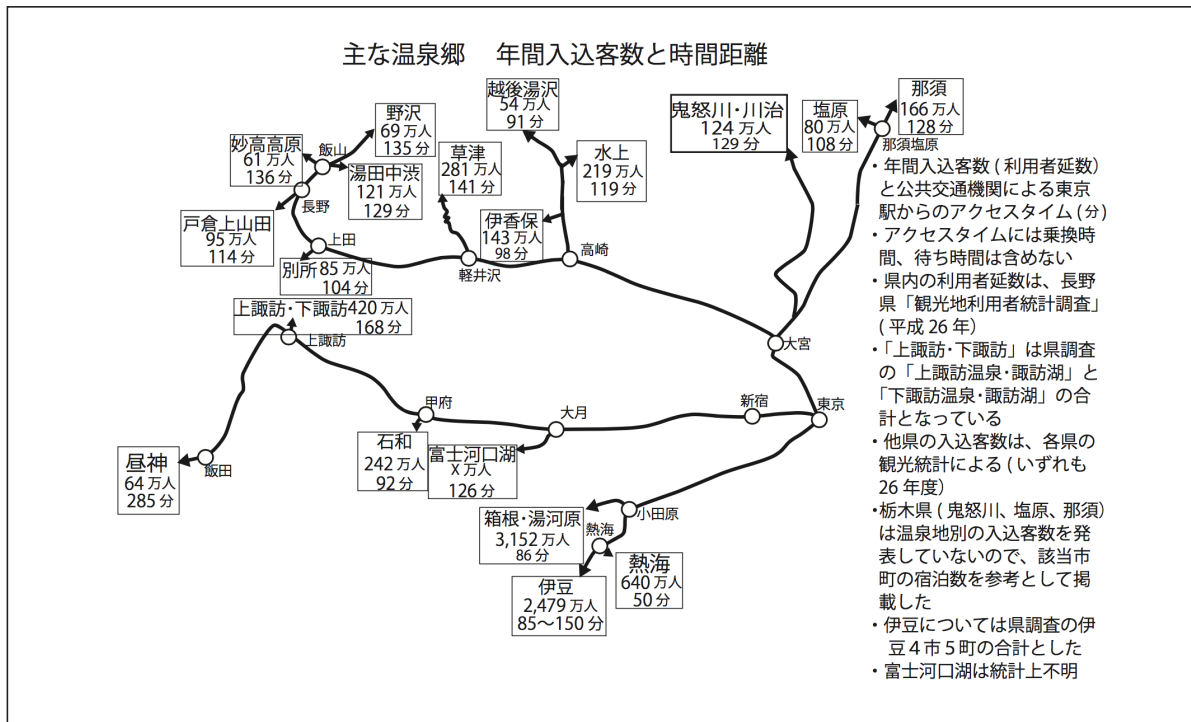
経済センサス



3. 飯伊地域の観光は

リニア新幹線が開通し当地域内にリニア駅ができることで「当地の観光・温泉に関東圏・首都圏からの入込増が見込まれる」との期待があるというが、どうであろうか。

全国各地域の観光・温泉の活性化に関わっている信金中央金庫地域・中小企業研究所の笠原 博専任役は「そう簡単ではない」と言う。温泉を例にとると、首都圏からみて強力な競合先が各地にある。「昼神温泉をはじめ飯伊地域の温泉の知名度は低い」とのことである。また温泉(温泉郷)は泉質のみでなく旅館や周辺の環境等との「掛け算」により集客力が決まってくるものであり、また温泉郷の先にどのような観光スポットや施設があるかなどトータルとして選択の対象になるもの、という。



4. 今後への期待

当地域の温泉が関東をはじめ各地の温泉郷と互していくのはたいへんであるが、上図の通り都心から当地域への相当ある時間距離は、リニア開通により劇的に短縮され90分程度になる。これは競争力アップになるが、それに加え、当地域のアピールポイントをつくる、駅とのアクセスをどうするかなど取り組む必要がある。

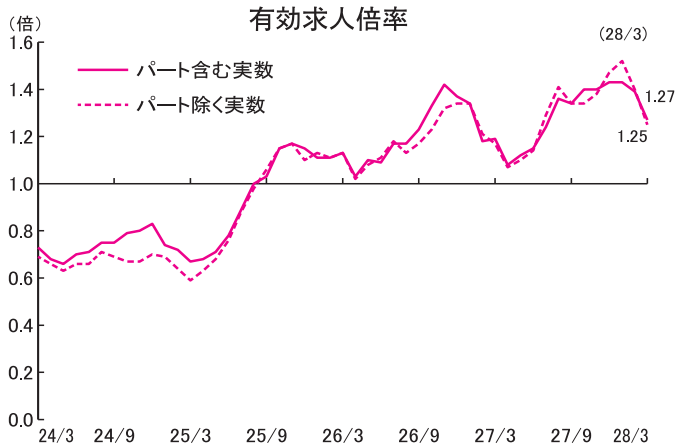
最近の話題として、「スタービレッジ阿智」によるナイトツアーが全国で脚光を浴びている。また来年のNHK大河ドラマでは井伊直虎を扱うが、静岡県遠州地域はすでにプロモーション活動を官民挙げてスタートしている。直虎は高森町にも縁があることから、今後は三遠南信地域で取り組んでいく動きもある。期待が持てる事態となっている。

ポイント

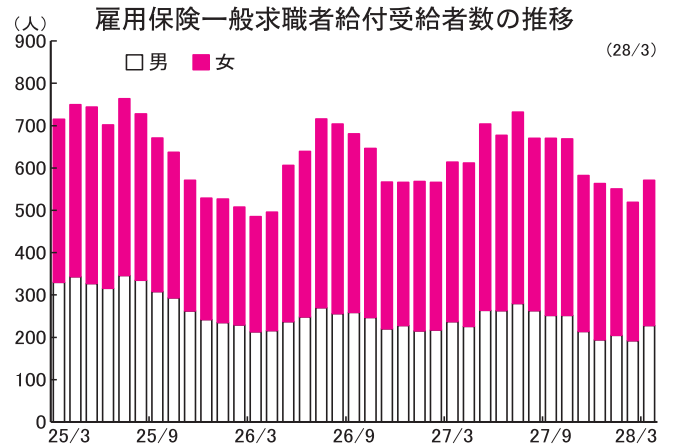
1. リニア駅の賑わい施設に地域の知恵を。
2. 地域の魅力スポットづくり。
3. 観光は重要ではあるが、産業面、この地域の生活の質など多面的な要素でリニア駅利用につなげていく。

(飯田信用金庫 総合企画部 リニア対策室 加藤 修平)

雇用の状況



3月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.27倍と前月から0.12ポイント下降。パートを除く実数は1.25倍で前月から0.15ポイント下降している。



3月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は36人増加、女性も16人増加しており、全体では571人と前月から52人増加している。

(資料：ハローワーク飯田)

しんきん年金相談会のご案内

しんきん



まかせて安心

年金相談会

年金のことならしんきんへおまかせください!

働くとなんになる?

60歳以降も働く予定の方
年金とお給料の複雑な仕組みをわかりやすく解説し、お客様に合った働き方をご提案します。

誤解していませんか?

年金は65歳まで待たないと損をする??
こんな話を聞いたことはありませんか。誤解をスッキリ解消いたします!

手続きが不安!

面倒な年金手続はしんきんが代行
年金の手続きは、信金におまかせください。安心・確実です!
まずは年金相談をお受けください。

知らないで損する?

あの時知らなかったばかりに...
とならないように、しんきんに任せてしっかり備えましょう。

遺族年金・障害年金は知っておいた方が良いことがたくさんあります
○ ぜひご相談ください ○

社会保険労務士が年金に関するお客様の疑問・不安を**全て解決**いたします!!

各店相談会
平日昼間

夜間相談会
毎週木曜日

休日相談会
隔週日曜日

ご都合のいい開催日をご利用ください。
詳しい開催日は裏面をご覧ください。

★予約制ですでお待たせしません。

★お忙しい方には、随時相談や書類上での相談もお受けいたします。

★相談・手続など全て無料です。



お問合せ、ご予約は... お近くのしんきん

または飯田信用金庫 経営相談所 電話 0265-53-5811 まで!!

6月～8月の年金相談会スケジュールをご案内いたします。

相談日	曜日	実施会場
6月 2日	(木)	夜間相談
6月 3日	(金)	西
6月 7日	(火)	喬 木
6月 9日	(木)	夜間相談
6月 12日	(日)	休日相談
6月 14日	(火)	橋 北
6月 16日	(木)	夜間相談
6月 17日	(金)	駒 場
6月 21日	(火)	松 尾
6月 23日	(木)	夜間相談
6月 24日	(金)	桐 林
6月 26日	(日)	休日相談
6月 30日	(木)	夜間相談
7月 5日	(火)	山 本
7月 7日	(木)	夜間相談
7月 10日	(日)	休日相談
7月 12日	(火)	上 郷
7月 14日	(木)	夜間相談
7月 15日	(金)	伊 賀 良
7月 21日	(木)	夜間相談
7月 22日	(金)	大 島
7月 24日	(日)	休日相談
7月 26日	(火)	時 又
7月 28日	(木)	夜間相談
8月 2日	(火)	城 東
8月 4日	(木)	夜間相談
8月 5日	(金)	阿南/新野
8月 7日	(日)	休日相談
8月 9日	(火)	高 森
8月 12日	(金)	本店営業部
8月 18日	(木)	夜間相談
8月 19日	(金)	東 野
8月 21日	(日)	休日相談
8月 23日	(火)	豊 丘
8月 25日	(木)	夜間相談
8月 26日	(金)	鼎